

(公社) 日本補綴歯科学会第 126 回学術大会を 6 月 30 日～7 月 2 日にパシフィコ横浜にて開催させていただきました。会員の皆様のご支援、ご協力により、多数の演題のご応募をいただき、また約 2,800 名の皆様にご来場いただき、盛会裏に終了することができました。ご厚情を賜りました会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

また、松村前理事長、市川理事長はじめ、関係の諸先生方のご高配により、本学術大会の主管校としてご指名いただきましたことにも改めて感謝申し上げます。

学術委員会委員の先生方による魅力ある企画のご準備とともに、多数の優れた研究発表のご応募をいただきました。全ての講演や発表に対してご好評を賜り、主管校としても安堵しているところでございます。

会員の皆様方にできるだけご満足いただけますよう主管校一同で鋭意準備をしまいましたが、大会期間中には何かとご不便、ご迷惑をおかけしたと存じます。スタッフ一同の努力に免じてお許しいただければ有り難く存じます。

来年の第 127 回学術大会は、岡山大学の皆木省吾教授を大会長として岡山コンベンションセンターで開催される予定です。末筆ながら、第 127 回学術大会のご盛会と、本会の益々の発展とともに、会員の皆様方のご健勝を心からご祈念申し上げます。

公益社団法人 日本補綴歯科学会第 126 回学術大会

大会長 大久保力廣 (鶴見大学歯学部有床義歯補綴学講座)

実行委員長 小川 匠 (鶴見大学歯学部クラウンブリッジ補綴学講座)

準備委員長 西山雄一郎 (鶴見大学歯学部有床義歯補綴学講座)

大久保力廣